

た。与えられたテーマについての問題を、まず自分の力だけでとき、その後グループのメンバーで話し合い、教科書を参照したりして、疾患の機序や治療法などを探していく、という形態の授業です。毎回の授業で、問題をといていくのですが、常に新しい発見があります。各授業で先生方は、教科書を調べただけではわからないさまざまな知識・症例の提示などをしてくださいます。また、グループのメンバーで話し合うことで、自分の知識の足りなさを自覚するとともに、同級生のレベルの高さを実感する日々です。

今までの3年次までの授業とは、やはり少しずつ内容がかわってきているなど、4年次の授業を受けていて思います。みんなで症例の検討をする授業も増えてきており、今まで学んだことをもとに一生懸命考えます。教科書通りのこと、またその通りにはいかないことなど、気づくことがたくさんあります。それらの知識をすべて取りこぼさずに自分のなかにインプットしたいのですが、そう簡単にはいかないのが現状です。少しずつでいいので、こつこつと学んだことを整理して定着させていきたいと思います。今学んでいることが、年末のCBTや来年からの病院実習の大きな基礎になると思うので、頑張りたいです。

4年次前期の授業は6月中旬で終了し、1年次との渡嘉敷研修、その後は離島実習、基礎研究室配属と、さまざまなイベントがあります。離島実習は1週間という長丁場です。実習先の病院で邪魔をしてしまわないか、患者にいやな思いをさせてしまわないかなど、不安もいっぱいですが、自分にできることを精いっぱいやって、より多くのことを実習で学べたらなと思います。

困ったときは、必ず誰かが助けてくれる、手をさしのべてくれる、そんな同級生が、私は好きです。何度かあげてもらったか、元気をもらったかわかりません。今まで数々のテスト、課題、レポート、実習などがありました。それを乗り越え、私たちが今の4年次としての肩書きがあるのは、素敵な同級生たちの力があってこそなんだと思います。こんな仲間たちに囲まれて、とても幸せだな、としみじみ思います。改めて、周りの人たちの存在に感謝したいと思います。これから待ち受けているCBT、ポリクリ実習も、みんなで力を合わせて乗り越えていきたいです。



## 「3年次近況報告」

新崎 綾 (3年次)

3年次年次長の新崎です。3年次の近況を報告させていただきます。

3年生からは薬理、病理、免疫、細菌、ウイルス、寄生虫の授業が始まりました。2年の時の純粋な基礎医学から、少しだけ臨床よりに歩み出したのをそこはかたく感じています。どの科目も多かれ少なかれ、ほかの教科とリンクしていたり、2年次の範囲を踏まえていないと分かりにくいこともあり、積み重ねの大事さが身に染みているところです。問答無用で暗記しなくてはならないものの数々、カタカナカタカナ、英語英語、そしてラッキーナンバーは5。そんなこんなで毎週押し寄せるテストをこなしながら楽しい学生生活を送っています。

5月には新たな後輩たちとの顔合わせもかねて、1-3新歓のビーチパーティがありました。あにくの曇り空のもと、和気あいあいと肉を焼き、汗を流し、そして砂で遊ぶ。1年生はとともエネルギッシュですね。2年生のときに学んだ肉眼解剖の知識を惜しみなく使って作った砂の美女の写真とともに報告を終わります。



## 「2年次近況報告」

渋谷 孝起 (2年次)

2年次の副年次長の渋谷孝起と申します。沖縄は5月初頭に梅雨入りし、ジメジメとした天気が続いています。

前回の近況報告でも書きましたが、我々の学年は今までのカリキュラムとは異なり、およそ半年ほど前倒しで専門科目の講義が行われています。2年次からは難関と言われる神経解剖学や神経生理学(旧生理学Ⅱ)が始まり、去年以上に厳しい勉強生活が続いていますが、更に特筆すべき点として人体解剖学実習が始まったことが挙げられます。座学中心だった前年度に比べ、今年度前期はほぼ毎日実習があり、ご献体から人体の構造を目で見て、肌で感じながら学ぶことができ、それと同時に生命の尊厳というものを改めて考えさせられています。ここで、2年次